

# CSR報告書 2021



Corporate Social Responsibility Report

2021.4-2022.3

株式会社クリエイティブ・コンサルタントは、地域のみなさまとのパートナーシップを通して、地域の活性化に寄与し、持続可能な社会の実現に向けて、社員一丸となって取り組んでいます。

## 会社概要

<b>商号</b>	株式会社クリエイティブ・コンサルタント
<b>所在地</b>	【本社】 札幌市中央区北1条東2丁目5番地3 塚本ビル北1館2階 【東京支店】 東京都新宿区市谷台町4番2号 大鷹ビル5階
<b>設立</b>	1990年12月1日
<b>資本金</b>	2,000万円
<b>代表者</b>	代表取締役 齊藤 雅之
<b>従業員数</b>	35名（2021年4月1日時点）
<b>認証取得</b>	ISO27001：情報セキュリティマネジメントシステム 認証番号：IS658697 労働者派遣事業 許可番号：派01-300691

## 編集方針

株式会社クリエイティブ・コンサルタントでは、ステークホルダーの皆様へ、私たちのCSR活動をお伝えするために、『CSR報告書』を発行しています。

本報告書では、クリエイティブ・コンサルタントのCSRの考え方に加え、私たちが試行錯誤しながら取り組む様々な活動をご紹介します。

尚、クリエイティブ・コンサルタントのWebサイトでは、会社概要やサービス、採用情報などをご紹介しますので、あわせてご覧ください。

**Webサイト**      <https://www.hokkaido-ima.co.jp/>

---

**報告対象範囲**      株式会社クリエイティブ・コンサルタント

**報告対象期間**      2021年4月～2022年3月

**発行**                      2022年3月

**お問い合わせ先**      株式会社クリエイティブ・コンサルタント  
経営戦略室  
e-mail:press@hokkaido-ima.co.jp

## Contents

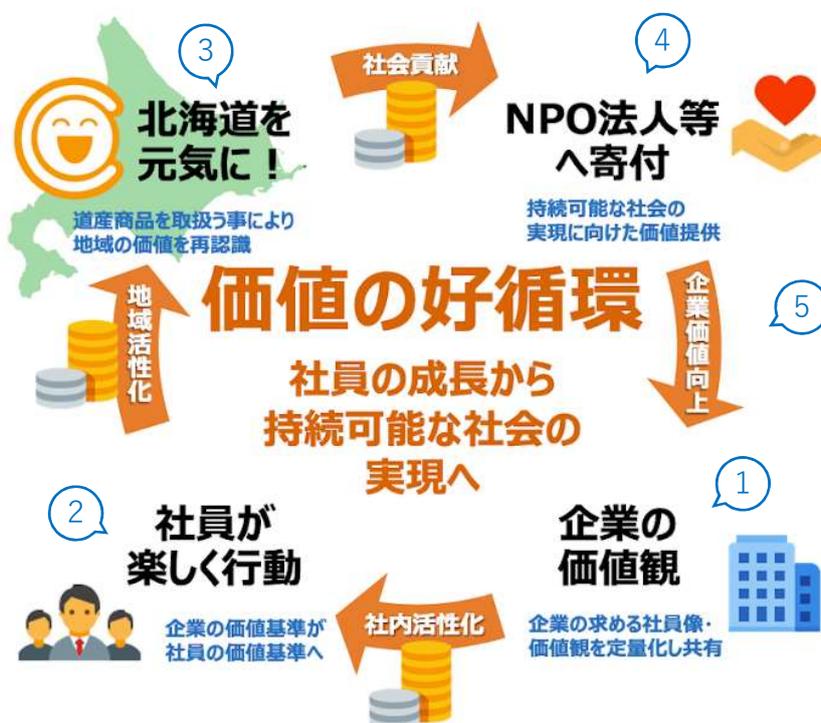
CSR方針	4
CSR活動	
1. 企業の価値観	6
2. 社員が楽しく行動	7
3. 北海道を元気に！	9
4. 持続可能な社会へ	10
5. 企業価値の向上	11
さいごに	12

## 『社員主導のCSR活動』

株式会社クリエイティブ・コンサルタントでは、社員一人ひとりが起点となって、社内および地域の活性化に寄与し、持続可能な社会の実現に向けて、社員一丸となって取り組んでいます。

### ◆取り組みの概要

以下の「5つの価値」が循環する仕組みを提供することで、「社員主導のCSR活動」を推進しています。



#### 1. 企業の価値観

私たちクリエイティブ・コンサルタントが価値とみなす基準を明確化し、定期的に社員に共有しています。

#### 2. 社員が楽しく行動

共有した価値基準に基づき、社員が楽しみながら自律的な行動（企画立案、社会貢献、情報発信など）を起こすことに対し、コインを付与する仕組み「ComComCoin」を展開しています。

#### 3. 北海道を元気に！

コインは、社員間の交流で利用したり、社内コンビニにて北海道由来の厳選された商品（道産品、道内企業、安全や環境に配慮、無添加）などを購入したり、社員が北海道の魅力を知る機会を提供しています。



「ComComCoin」はブロックチェーンを活用したアプリケーションです。アプリケーションについては下記サイトをご覧ください。

<https://www.hokkaido-ima.co.jp/creative/development/software/cre-comcomcoin>

#### 4. 持続可能な社会へ

社内コンビニなどで利用したコインは、社員が自分の意志で選んだNPO法人などに全額寄付します。

社員が社会課題や環境問題を知る機会を提供しています。

#### 5. 企業価値の向上

持続可能な社会をつくるための社員の積極的な取り組み・貢献により、企業価値の向上を目指しています。

寄付先として取り組みにご賛同いただいた団体（敬称略、五十音順）

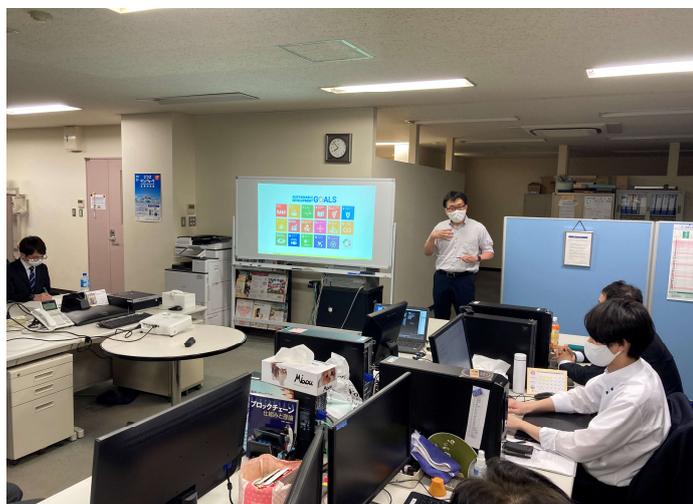
- ・認定NPO法人 ウォーターエイドジャパン
- ・認定NPO法人 グッドネーバーズ・ジャパン
- ・認定NPO法人 セカンドハーベスト・ジャパン
- ・公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン
- ・公益財団法人 日本自然保護協会（NACS-J）
- ・認定NPO法人 フローレンス

上記仕組みによって、様々な活動が生まれました。  
定義した「5つの価値」に沿って、私たちの活動をご紹介します。

Go To Next Page!

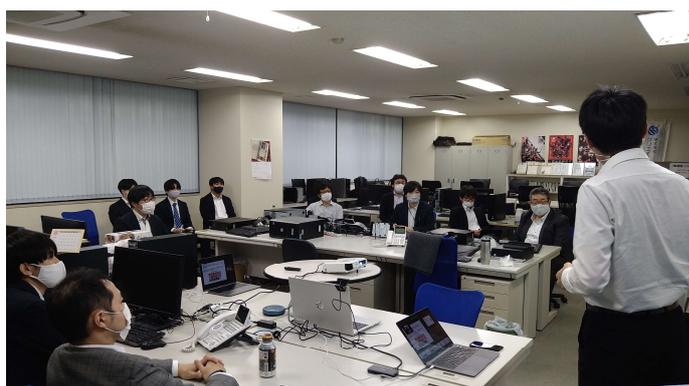
# 1. 企業の価値観

私たちクリエイティブ・コンサルタントが価値とみなす基準を明確化し、定期的に社員に共有しています。また、社会課題や環境問題を知る機会として、SDGsの社内教育を実施しています。



毎月実施している「システム部 部会」において、会社から社員に対して情報を共有するとともに、社員自らが考え、調べてきたことをプレゼンテーションすることで理解が深まるとともに、発信された情報を受けて、更に調べてみる、行動してみるといった連鎖が生まれています。

取り組みに賛同いただいた寄付先6団体の活動内容の紹介を定期的に継続実施。今年度は団体のオンラインの集いに参加するなどリレーションも強化されています。



社員によるSDGsの取り組み紹介は回を重ねるごとに深まり、発信回数も昨年度から倍に増えました。社内に留まらず、社外にも活動の場を広げ、地域の方々とともにアクションする機会も生まれています。



## 2. 社員が楽しく行動

私たちクリエイティブ・コンサルタントが価値とみなす基準を明確化し、共有した内容に基づき、社員が楽しみながら自発的な行動を起こすことに対し、コインを付与する仕組みを展開しています。

### ◆記事投稿による情報発信

社員が楽しいと感じることを記事にして投稿する。そして、その記事投稿を起点としてコミュニケーションが生まれています。

投稿された記事のうち、割合として多いのはIT技術に関わることと北海道の魅力紹介。次いで地域貢献やSDGsにまつわる企画・取り組み事例の紹介でした。新しい技術への知的好奇心、技術の探究心や社会課題・環境問題・地域貢献への関心の高まりが見られました。

また、入社3年目までの若手社員による記事投稿の割合が増えており、来年度以降、更なる活性化を期待させる結果となりました。



### ◆今年度の試み

投稿記事の情報などをインプットとして、AI分析して社員にフィードバックする仕組みを導入しました。まだまだ改善の余地はあるものの、社員が今までとは異なる視点で調べる、発信する一因となり、一定の効果が得られたため、テクノロジーによる新しい社内活性化の可能性を感じることができました。



### ◆社員同士の交流

チャット機能によって場所を問わず、社員間で情報交換でき、「ありがとう」の気持ちを伝えることができるようになっています。

社員の半数以上が昨年度よりも多く「ありがとう」の気持ちを伝えており、気持ちを伝える重要性、理解度が深まっています。



## ◆イベント企画

社員が「地域のために私たちにできること」を考え、企画・主催したイベントを紹介します。

### ■地域貢献／環境保全の取り組み



北海道の豊かな自然を守るため、6月に小樽市銭函海水浴場で地元の飲食店とコラボしたビーチクリーンを実施しました。

社員と社員の家族を含め、28名の方が参加してくれました。



みんなで協力してゴミを拾いましたが、苦労したのが小さくなってしまったゴミ。砂の中に埋もれていたり、木屑などと絡まっていたり。海洋プラスチック問題を目の当たりにして、本当に深刻な状況だと実感しました。

こういった実状を地元の方々はどう思っているか、お話を伺ったところ、「海の近くで暮らしていると毎日のようにゴミを目にする」「ゴミ拾いなどの活動は行ってはいるが、なかなか減らない」「海の現状を一人でも多くの人に知ってもらい、意識が変わり、行動が変わることを願う」とのこと。

私たちは、このビーチクリーン活動を通して、地元の方々が常々感じていることを体感し、海のゴミ問題について、とても考えさせられました。一人ひとりができることは小さく、限られているかもしれませんが「モノを大切にする」「ゴミを適切に処分する」など、普段の生活から取り組むこと、そして、こういった活動を発信していくことがとても重要だと感じました。



### ■地域貢献／未来を担う子どもたちの育成支援



昨年度に引き続き、今年度も実施する予定だった、地域の小学校でのプログラミングキャンプは、新型コロナウイルスまん延防止に伴い、企画段階で中止となりました。

中止になったことは非常に残念ではありましたが、昨年度参加してくれた児童たちから「プログラミングを続けている」という声が聞こえてきており、児童自ら可能性を広げ続けていることにとても感動しました。

難しい状況は続いています。未来を担う子どもたちのためにできることを模索し続け、地域のみなさまと協力して、取り組みを継続していきたいと思っています。

## 3. 北海道を元気に！

付与されたコインは、社内コンビニで使うことができます。社内コンビニでは、北海道由来の厳選された商品（道産品、道内企業、安全や環境に配慮、無添加）を購入することができ、社員が北海道の魅力を知る機会を提供しています。



社内コンビニでは、商品を購入することに加えて、「社員がおすすめの商品」を配置することも可能で、社員自らが魅力をプレゼンし、楽しみながら道産品、道内企業を応援する活動が行われています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で行動が制限される中ではありましたが、北海道の魅力ある品が新たに6点、紹介されました。

社員紹介  
厳選商品数  
6点

北海道を元気にするための活動も行われました。プロスポーツの応援、次世代リーダー育成支援、未来を描くプロジェクト支援など。

活動は対面に限らず、オンラインも積極活用し、地域活性化に貢献しています。

frogs Ezo 未来s みらいず

北海道を元気に  
にする活動

11回



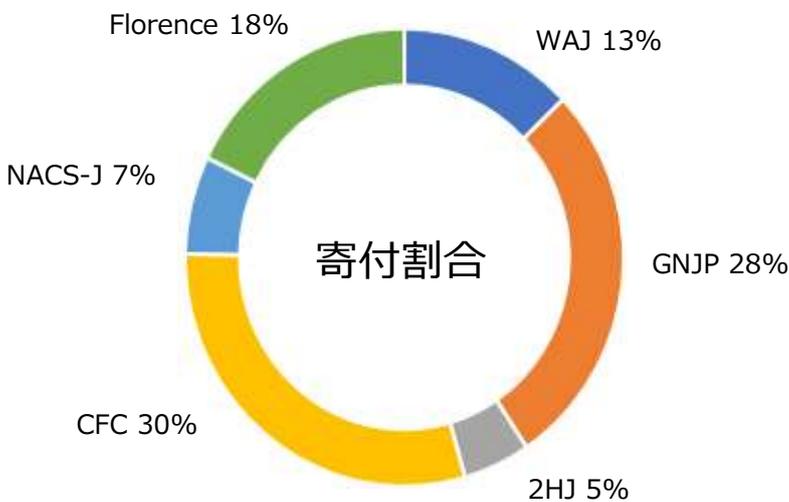
## 4. 持続可能な社会へ

社内コンビニなどで利用したコインは、社員が自分の意志で選んだNPO法人などに全額寄付します。本取り組みによって、社員が社会課題や環境問題を知る機会を提供しています。

寄付先として取り組みにご賛同いただいた団体（敬称略、五十音順）

- ・認定NPO法人 ウォーターエイドジャパン（WAJ）
- ・認定NPO法人 グッドネーバーズ・ジャパン（GNJP）
- ・認定NPO法人 セカンドハーベスト・ジャパン（2HJ）
- ・公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン（CFC）
- ・公益財団法人 日本自然保護協会（NACS-J）
- ・認定NPO法人 フローレンス（Florence）

ご賛同いただいた上記団体について、社員に説明するとともに、社内に各団体の活動内容を掲示しています。知ることで、社員や社員の家族含め、考え、行動する契機になっています。



年間通して寄付された金額の割合は左図の通りとなりました。

（2022年3月15日現在）

主に未来を担う子どもたちに関係する支援の割合が多い結果となりました。

新型コロナウイルスの影響により、子どもや子育て世帯にアプローチするような身近な支援に対して、興味関心が集まったものと考えられます。

今年度から独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行するソーシャルボンドへの投資を決定いたしました。

私たちは、社会的課題や環境問題の解決に繋がる事業、SDGs達成に貢献する事業を資金面からサポートし持続可能な社会の形成に寄与すべく、今後も社会的使命・役割を果たしてまいります。



## 5. 企業価値の向上

私たちは、持続可能な社会をつくるための社員の積極的な取り組み・貢献により、企業価値の向上を目指しています。

私たちの取り組みは今年で2年目。ありがたいことに雑誌で取り上げていただく、表彰いただくなど、多方面で認知いただくこととなりました。

2021年6月10日 さっぽろ経済（6月号）



「社内活性化の取り組みから、持続可能な社会の実現へ」

アプリケーションソフトウェア開発や、システムコンサルティング業務などを行う㈱クリエイティブ・コンサルタンツは、社内および地域の活性化に寄与し、持続可能な社会実現に向けて取り組んでいる。

同社では、自社の求める社員像や価値観を定期的に共有している。共有した価値基準に基づき、自律的な行動を起こした社員には、自社開発のスマホアプリ「ComComCoin」を利用してコインの付与を行っている。

同取り組みは、社員同士が楽しみながら交流し、ボランティア活動や社会課題への興味、地域の魅力・健康維持への関心など、自律的な行動につながっている。また、発行されたコインは、社内のコンビニにて北海道由来の商品を購入でき、利用したコインは社員が自分の意志で選んだNPO法人等に全額寄



付している。

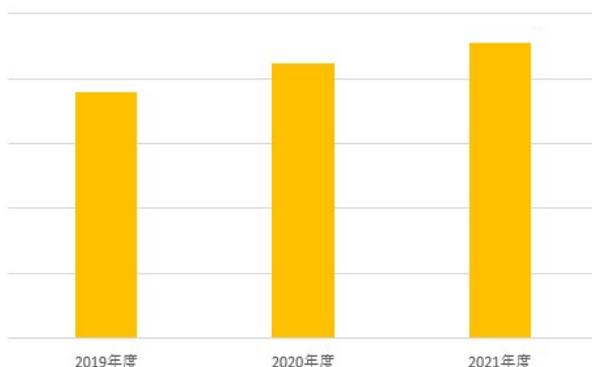
同社では、これらの活動を通じて持続可能な社会を作るための、社員の積極的な取り組みと貢献により、企業価値の向上を目指している。

掲載企業①  
社内活性化の取り組みから、  
持続可能な社会の実現へ  
㈱クリエイティブ・  
コンサルタンツ

2022年1月28日 札幌商工会議所



ホームページアクセス数



## さいごに

『社員主導のCSR活動』を促す仕組みを展開し、社内および地域の活性化から持続可能な社会につなげる取り組みをスタートさせてから2年。

今年度は新型コロナウイルスの影響で行動制限がかかり、企画を中止せざるを得ない状況になるなど、思うように活動できない時期もありましたが、オンラインの活用、感染対策の徹底など、工夫しながら取り組んでまいりました。

昨年度生まれた活動は継続し、今年度は若い世代に引き継ぎつつ、社会課題をキャッチして「考え、試し、改善する」を繰り返して、新たな活動創出に力を注ぎました。それにより、社員との価値基準の共有が進み、伴って社会課題にも目が向き、地域の方々や企業、自治体とのパートナーシップを通して、新しい価値観も積極的に取り入れることで多様性を受け入れ、包摂的な取り組みへと進化しています。

ブロックチェーンやIoT、クラウドといったテクノロジーで社内活性化の基盤を支えることに加え、AIによって活性化を後押しする仕組みを展開できたことも大きな一歩だと感じています。

このような取り組みから「SDGs経営表彰 ダイバーシティ部門」を受賞し、客観的な評価をいただくなど、手応えを感じる1年となりました。

他方、世界ではまだまだ多くの問題を抱えています。私たちは世界で起こっていることに目を向けながら、北海道のIT企業として、地域の活性化に貢献し、北海道から持続可能な社会実現にアプローチしてまいります。

私たちは持続可能な社会を実現するため、日々、新しい価値を創造してまいります。